

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【令和6年度 事業所自己評価】

ケアンドワイ小規模多機能型居宅介護

令和6年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(有) ケイアンドワイ	代表者	山名 文夫	法人・事業所の特徴	公園に隣接、明るい環境の中、レクリエーションの充実、楽しみのある生活を送れるようサービスを提供しています。 個々のニーズに柔軟に対応し、いつまでも住み慣れた地域で、自分らしく生活出来るよう支援しています。
事業所名	ケイアンドワイ小規模多機能型居宅介護	管理者	風間美代子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	1人	人	1人	1人		5人		10人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善計画の目標達成状況をグラフ化し、掲示する事で見える化する。	月々の目標を決め、出来た事をグラフにしようとしたが、「今までの暮らしを知る」では聞いた情報を用紙に記入する事も出来ず、途中で断念してしまった。	自己評価の結果をミーティングで話し合い、次回の改善計画を決めている様だが、まとめるのには時間が掛かると思う。	「事業所自己評価の次回の改善計画」を年度初めに社内の個人目標に掲げ実行する。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域の方や、家族の方と一緒に楽しめる行事の提案により、事業所に入り易い環境作りをする。	レクリエーションでミニ夏祭りミニ屋台があり、家族への参加を促したが参加はなかった。	アナウンス不足ではないか、様子を見たい家族はいると思う。	家族の方が参加できるようなレクリエーションがある時は、早めに連絡し、参加を促す。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の一員としての自覚を持ち、夏祭りのお手伝い等、出来る事を考え実行して行く。	自治会の夏祭りに出店し参加しようとしたが、他の業者の出店も断っているので参入は難しいとの事でした。お客様と見学に行き皆さん喜ばれていました。	泉ヶ丘の買い物支援での事務局として活動してもらい感謝しています。 回覧板で利用者を募っているが見落としている方もいるようだ。	介護相談が気軽にできる事を地域の方に情報発信できるようにする為にスタッフ間で話し合い、実行する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご本人と今まで関わっていた方との関係を絶たないよう、支援して行く。 また、外出の機会を多く持つ。	以前から通っていた美容室に行きたいとの希望時は同行している。外出レクでは、地元の観光地や飲食店を利用するなど楽しんでいただけた。	家族の方との外出はなかなかできないので、観光地などに連れて行って貰えるのは楽しいでしょう。	以前から利用していた店舗等に外出介助する事で馴染みの方との関係を絶たないようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	以前に提案して頂いた、ボランティアの受け入れをする。 提案して頂いた件をスタッフ間で検討、実行する。	歌やマジックショーのボランティアが来所した。お話しボランティアの受け入れは実行出来なかった。	包括支援センターとの関わりを生かし、事業所での研修（権利擁護など）を出向いて実施する事は可能です。	提案頂いた、研修の講師として包括支援センター職員の方の協力を得て研修を実施する。
F. 事業所の防災・災害対策	避難誘導訓練や BCP（業務継続計画）訓練等全スタッフが参加し、迅速な対応ができるようにする。	避難訓練は、年2回各本体とサテライトで実施している。BCP訓練は、全社共同で実施している。	防災訓練や BCP 訓練など聞いた事がない訓練もあり、義務化されているとは知りませんでした。	避難誘導訓練に近隣住民の方や運営推進会議の委員の方に参加して頂き、事業所の防災に関心を持って頂く。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 6 日 (18:30~19:30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	風間・江尻・今井・柳沼・中谷・孫・佐藤・梅井・遠藤・大和田・森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	10			12

前回の改善計画	利用開始前にはミーティングを行い、知り得た情報の共有を徹底する。 支援内容が明確化されていない場合があるので、支援の経過途中に変更があればその都度支援内容の変更を検討、実行する。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規の方の知り得た情報は、ミーティングや申し送り時に伝えノートに記載し、共有できた。 利用開始してから分かる事があるので、その都度支援内容を変更し支援に繋げた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	9			12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	9	1		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか？	4	7	1		12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	9			12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
家族の要望を支援に繋げている (ニーズを優先している) 家族等の要望を利用開始前にケアマネより聞き取り支援に反映させている。 ミーティングや申し送りで得た情報を共有している。 利用開始頃は安心して過ごして頂けるような声掛けをしている。席の配置に気を配り、馴染みの関係を作り易いようにした。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
情報を共有できていない時があった。 通常の業務に追われ得た情報を申し送りノート等への記入を忘れてしまった。 家族や本人の為に何をしたら良いのかを把握できていなかった。 新規の方への声掛けを多くしようとしたが、不穏の方の対応などで十分な時間が取れなかった。 要望等を詳しく知ろうという意識が不足していた。	

次回までの具体的な改善計画	知り得た情報や注意点は忘れず申し送りノートへ記入し、その日不在のスタッフへも情報の共有ができるようにする。 新規の方への声掛けの時間が取れるように、不穏な方への対応はスタッフ同士連携を図りながら行う。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 6 日 (18:30~19:30)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	風間・江尻・今井・柳沼・中谷・孫・佐藤・梅井・遠藤・大和田・森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	1	9		12

前回の改善計画	お客様の目標を把握するために、担当になっているお客様のサービス計画書や個人ファイルを意識的に確認する時間を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	サービス計画等に目を通す時間を意識的に取る事ができなかった。 本人の目標を把握できていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		7	5		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		8	4		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	5		12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	8	1		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個別担当の方の個人ファイルを改めて目を通す事ができた。 ミーティングでは、お客様の状態や支援について発言し共有する事ができた。 ミーティングや申し送り時に情報を共有し対応ができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
通常の業務が優先してしまい、本人の目標にいて確認できていなかった。 新規の方の当面の目標を把握できていなかった。 iPad 導入により記録書の記入で個人ファイルを開く事が減り、確認する時間もとれなかった。 ミーティングでは、業務内容の事項が多い為、目標を共有したり振り返る機会がない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ミーティング前に議題にするお客様を決め、個別担当者が中心になり意見を出し合うなど、本人の目標や希望について話し合う場を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 6 日 (18:30~19:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	風間・江尻・今井・柳沼・中谷・孫・佐藤・梅井・遠藤・大和田・森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？		7	5		12

前回の改善計画	「以前の暮らし方」を本人、家族から 10 個以上聞き、把握する。 聞いた事を個人ファイルに記入し、情報を共有し、声にならない声に気づけるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	「以前の暮らし方」が記入し易いように表を作成したが、日々の会話の中で聞いた事を記入する時間の余裕と意識が不足していた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？		4	8		12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	8	4			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	9	2		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	6	6			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4	7	1		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 個別担当の方と以前の生活習慣の話しをしたりして「以前の暮らし方」は把握できている。 本人の体調や気持ちの変化に気付くことができ、その都度他スタッフへ相談・報告し、支援に繋げ共有した。 ミーティングなどで情報を共有し、他スタッフの良い対応の仕方などを参考にして行動できた。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 会話の中で以前の生活について聞く機会はあったが、忘れてしまっている点もある。 他の方の対応で、担当の方でも「以前の暮らし方」は 10 以上は把握できていない。 寄り添い傾聴しようとしたが、日々の業務に追われ時間に余裕が持てなかった。 「以前の暮らし方」を知ろうとする事に意識が向いていなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 朝の挨拶は一人ずつ笑顔で行う、介助の際には可能な限りコミュニケーションを図る事を意識する。 そこから、本人の気持ちを自ら話し易い関係を築く。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 6 日 (18:30~19:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	風間・江尻・今井・柳沼・中谷・孫・佐藤・梅井・遠藤・大和田・森田

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	5	6		12

前回の改善計画	本人を支える為の地域の資源について理解を深める。 家族や近隣の方など、どのような方が関わっているのか書き出し、関係が継続出来る為に何が必要か見えてきた事を支援に繋げる。
前回の改善計画に対する取り組み結果	本人の関わりは、家族以外の近隣の方や民生委員の方などを知る機会を作る事ができなかった。 社会資源について知識が不足していた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	7	4		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	9	2		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		8	4		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		3	8	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個別担当の方の自宅での生活や人間関係は、ある程度は把握できている。 地域の行事の夏祭り等に参加し、楽しんで頂いた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
直接地域の資源を知る機会がなく、民生委員など把握できていない。 近隣の方々とどのように関わっているのか明確ではない。 社会資源について知識が不足している。 近所を散歩する時の同行するスタッフが足りなく、散歩の機会が減り、近隣の方々との交流ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
個別担当者が本人のこれまでの生活スタイル等を把握し、本人を支える社会資源について理解し共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 6 日 (18:30~19:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	風間・江尻・今井・柳沼・中谷・孫・佐藤・梅井・遠藤・大和田・森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	7	1		12

前回の改善計画	日常の関わりの中で気づいた事は他スタッフと共有し、柔軟な対応を検討し、必要な時に必要な事を妥当・適切に支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	問題（お客様同士のトラブル・むせりのある方への対応等）があればその都度スタッフ間で意見を出し合い支援に繋がった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	8	2	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9	2			12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	6			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	5	1		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人の歩行状態や体調を見て、その都度介助の仕方など対応を変えている。 身体状況の変化に気づいた時には報告・相談し、情報を共有し支援を行った。 急な宿泊になった方へも安全に過ごして頂く事ができたり、家族のニーズに対応することができた。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の資源を知る機会がなく、地域の資源を使えているのか分からない。 時間帯により身体の動きに支障がある方の支援方法を、上司や先輩がその場にいなかったため相談できず、自己判断に自信がなく迷いがあった。 申し送りノートに記入するという意識に掛けているのか、特に日中にある事の記入がなく、情報が共有されていない時がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 身体的・精神的な面で一日の中で変動する方などの対応等を統一化し、誰でも判断がし易いようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 6 日 (18:30~19:30)
6. 連携・協働	メンバー	風間・江尻・今井・柳沼・中谷・孫・佐藤・梅井・遠藤・大和田・森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	5	1	3	1 2

前回の改善計画	自治会の行事に偏りなく参加出来るよう人員配置を行う。 地域の方々に気軽に声を掛けて頂けるよう明るく挨拶し、顔馴染みの関係を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	自治会の行事の避難訓練や一斉清掃などに参加するスタッフを調整にて順次替えた。 近隣の方とすれ違う時は挨拶をする事を心掛け実行できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	2	3	4	1 2
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3	2	3	4	1 2
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	4	5	2	1	1 2
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		2	6	4	1 2

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 馴染みの関係が作れるように、近隣の方とすれ違う時は挨拶を必ず行うよう意識している。 地域の一員として、自治会の行事（避難訓練等）に参加できた。 事業所を知ってもらうきっかけになる為、中学生の職場体験の受け入れをして、高齢者との触れ合いや介護現場の仕事内容を理解してもらった。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 他のサービス機関の会議には、ケアマネージャーや管理者が行っているので参加する機会がない。 気軽に立ち寄って頂けるようなイベントがなく、あまり地域住民の方との交流がない。 高齢者施設という事で事業所に入りづらいのか登録者や家族以外の方の訪問はあまりない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域の一員としての自覚を持てるよう、自治会の行事に順次スタッフが参加できるようにする。 地域の方々が立ち寄って頂けるような機会を作る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 6 日 (18:30~19:30)
7. 運営	メンバー	風間・江尻・今井・柳沼・中谷・孫・佐藤・梅井・遠藤・大和田・森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	10	1		12

前回の改善計画	ミーティング時、「事業所のあり方」について、スタッフ同士が話し合える時間を作る。 日々の関わりの中で、改善出来ることはないか、本人や家族の些細な声も聞き逃さないようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティング時には「事業所のあり方」について話し合ってはいるが、日々の関わりの中で意見は言えている。相談や苦情に対し即時に対応している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	6	4		12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	8	1		12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	8	1	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	1	6	2	3	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
意見や苦情があった場合は管理者、ケアマネに相談し、解決している。 ミーティングでは、意見を言う事ができ話し合いにて情報の共有や改善に取り組んでいる。 運営推進会議では、地域住民代表の委員の方々の意見を頂く事ができている。 自治会と協働で「お買い物支援」の事務局として地域に必要とされる拠点になっていると思う。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
自分の意見に対して否定されるのではないかと思います、意見を心の中に留めてしまう事もある。 お客様からの意見や苦情を共有しているが、周知徹底されていない時がある。 地域住民の方々との関わりがあまりないので、地域の方の意見を聞く機会がない。 運営推進会議での意見や助言を日々の業務に追われ、実行できていない所がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
お客様からの意見や苦情があり、改善した事柄をスタッフ全員が内容を把握し、同じ対応ができるようになる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 6 日 (18:30~19:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	風間・江尻・今井・柳沼・中谷・孫・佐藤・梅井・遠藤・大和田・森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	10	1		12

前回の改善計画	スキルアップの為の研修を社内・社外共に参加出来るよう人員配置を考え、実行する。 年間の研修計画の実施にあたり、内容を充実したものにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	社内研修は、オンライン動画研修は各自時間を調整し受講することができた。 社外研修は、人員的に受講難しく一件のみとなってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	8	1		12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	4	4		12
③	地域連絡会に参加していますか		2	2	8	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	9	1		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
オンライン動画研修を社内全体で計画的に行っている。受講した内容を支援に反映している。 ヒヤリハット報告書や事故報告書の回覧や検証することで周知徹底し、再発防止に務めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
外部の研修には、日々の業務など時間が合わず参加できていない。 地域連絡会とはどのような物か理解できていない。参加する機会がない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
社外研修を受講し、スキルアップできるよう調整する。 地域連絡会についての勉強会を実施し理解を深め、今後の支援に繋げる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 6 日 (18:30~19:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	風間・江尻・今井・柳沼・中谷・孫・佐藤・梅井・遠藤・大和田・森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	6	2		12

前回の改善計画	お客様の側で記録書の記入はしない。 やむなくする場合は、見えないようにするなどの個人情報の取り扱いには十分配慮した行動を取る。
前回の改善計画に対する取組み結果	立ち上がり動作のある方の見守りをしながら隣で記入作業をやむなくする時はあったが、見えないように配慮しながら行った。 席を離れる時にはなるべく閉じるようにしているが、忘れてしまう時もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	3			12
②	虐待は行われていない	10	1	1		12
③	プライバシーが守られている	5	5	2		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	5	3	2	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	5	1		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 言葉使いや行動には十分気を付け、身体拘束や虐待がないよう注意している。 他のお客様に個人情報を聞かれても話さないようにしている。 尊厳を持って接している。 記録書等がお客様から見える所にある時などは、スタッフ間で注意する事ができた。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 立ち上がりのある方の見守りをしながら隣で連絡帳などの記入をする為、急にお客様が立ち上がったたり、急用で席を離れる時に閉じるのを忘れてしまう時がある。 トイレ誘導の声掛けなど高齢の為聞き取り難いと思い、つい声が大きくなってしまふ。 お客様の支援内容などをデイルーム内で話していた所、自分の事を言われている事に気を悪くされたことがあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) デイルーム内でのお客様の情報や名前を出しての会話は避ける。 申し送りやむを得ない場合は、周りに配慮しながら行う。
---------------	--